

特定健診異常値保有者の年代別比較及び質問票における生活習慣とメタボとの関連性—胎内市の特定健診結果から—

石上和男¹⁾、木下直彦¹⁾、川内怜²⁾、茨城亜実²⁾、伊藤季小乃²⁾、小山美香²⁾、佐藤杏未乃²⁾、田村梨紗²⁾、戸田萌香²⁾、青木将²⁾、傳秀子³⁾、諸橋昭子³⁾

- 1) 新潟医療福祉大学 医療情報管理学科
- 2) 医療情報管理学科平成28年度卒業生
- 3) 胎内市元気支援課

【背景・目的】平成20年4月から、40～74歳の医療保険加入者を対象に特定健診が開始された。これは生活習慣病の予防に着目しているが、新潟県では県平均や年代ごとの比較は公表されていない。本研究は胎内市から得られたデータを基に、血圧、血糖、脂質について異常値保有者割合を年代別に把握するとともに、国が示す生活習慣に関する質問項目を用いてメタボリックシンドローム(以下「MS」とする)との関連性を見ることで、今後の生活習慣病予防の指導に役立てることを目的とした。

【方法】1.対象：胎内市の国民健康保険に加入する者で、平成27年度に特定健診を受診した40～74歳の1,674人(男性700人、女性974人)

2: 分析項目及び方法 (1)異常値保有者の年代別構成比国が定めたMSの診断基準を用い、血圧高値、血糖高値、脂質異常の3つについて、その保有者割合を年代別に比較し、構成割合に差があるかを見るために独立性の検定を行い、差が見られた場合、どの項目間で観測度数と期待度数の構成割合に差があるかを明らかにするため残差分析を行った。(2)質問票における生活習慣とMSとの関連

国が示す生活習慣に関する質問項目8～18及び20を用い、MSを目的変数とし各質問項目を説明変数として、二項ロジスティック回帰分析を行った。MSは非該当を「0」に、基準該当及び予備群を「1」のダミー変数に置換し、説明変数もすべて「0」又は「1」のダミー変数に置換した。統計的有意水準は5%とし、統計解析ソフトはBellcurve社製のエクセル統計2015を用いた。

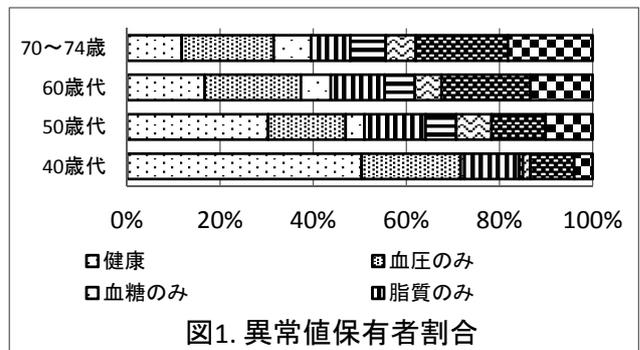
【結果】図1に年代別の異常所見保有者率を示した。健康な人の割合は年代が上がるにしたがって減少し、40歳代で50.4%であったものが、70～74歳では11.7%に減少していた。また、血圧のみの異常者の割合は差が見られないものの、「血圧+血糖」「血糖+脂質」「血圧+脂質」の異常を持つ者は増加し、「血圧+血糖+脂質」の3項目とも異常値を持つ者の割合は年代が上がるに従い増加し、70～74歳で18.2%であった。独立性の検定で構成比率に差が見られたことから残差分析を行い観測度数と期待度数の値を比較した結果を下欄に示した。

表2はMSを目的変数とし、質問項目を説明変数としたときの関連性を示したもので、質問内容で関連のあったものは、質問Q1～3、Q8、Q9、Q11～13であった。

【考察】すべての年代で健康該当者の構成比率が高かったのは、健康状態に自信のある人ほど健診を受けていると考えられ、健診の受診率向上が課題と考えられる。また、MSの危険因子はQ9及びQ13で、体重増加が最も留意すべき指導項目であり、Q12「同年齢の人に比べ歩く速度が速い」が男女とも有意の差が見られたことが挙げられる。

【結論】年代が高くなるに従いMS異常値保有者割合及び複数異常項目保有者も増えていた。体重増加や運動習慣の定着に着目したMS予防指導を充実する必要がある。

(倫理的配慮)本研究は新潟医療福祉大学倫理委員会の承認を得て進めた。(承認番号17729-160909)



	調整済み標準化残差(両側P値)							
	健康	血圧のみ	血圧+血糖	血糖のみ	血糖+脂質	脂質のみ	脂質+血圧	血圧+血糖+脂質
40歳代	0.0000	0.7013	0.0072	0.0084	0.0326	0.7062	0.0114	0.0008
50歳代	0.0000	0.2180	0.9152	0.1775	0.2718	0.2631	0.0172	0.1132
60歳代	0.0060	0.4780	0.9306	0.6947	0.8256	0.3143	0.1298	0.6560
70～74歳	0.0000	0.8990	0.1691	0.0419	0.4856	0.0363	0.1387	0.0004

	Q1	Q2	Q3	Q8	Q9	Q11	Q12	Q13
男	**	**	*	*	**		*	**
女	**	**	**		**	*	**	**
						*p<0.05	**p<0.01	
質問1(Q1)	高血圧の薬を内服							
質問2(Q2)	糖尿病(境界型を含む)の薬を内服							
質問3(Q3)	脂質代謝異常症(高コレステロール・高脂血症)の薬を内服							
質問8(Q8)	現在たばこを習慣的に吸っている							
質問9(Q9)	20歳の時の体重から10kg以上増加している							
質問11(Q11)	日常生活において歩行または同等の身体活動を1日1時間以上実施							
質問12(Q12)	ほぼ同じ年齢の同性と比較して歩く速度が速い							
質問13(Q13)	この1年間で体重に±3kg以上あった							